

2012年 年頭あいさつ

特定非営利活動法人 大阪腎臓病患者協議会
会長 田井信之

新年を迎え、会員・家族、日ごろよりお世話になっている関係各位の皆さまに謹んでごあいさつを申し上げます。

みなさまにとって穏やかな一年であることをお祈り申し上げます。

昨年は色々なできごとがありました。

4月に4年に一度の統一地方選が実施されました。府議会や大阪市会、堺市議会では「大阪維新の会」が大躍進しました。吹田市や守口市でも大阪維新の会が公認又は推薦した候補者が新しい市長となりました。橋本知事は知事の任期満了を待たず、辞職し大阪市長選に立候補し750,813票を獲得し当選を果たしました。

大阪都構想や府と市の二重行政の問題などが大きく取り上げられていますが、私たちに係る医療・福祉施策について現行制度が後退しないよう行政に対し、私たち透析者の現状を訴えて行く必要があります。

3月11日、東北太平洋沖で発生した地震は日本国内の観測史上最大であるマグニチュード9.0を記録し、私たちの想像を遙かに超える被害をもたらしました。この地震により発生した大津波は東日本太平洋沿岸に甚大な被害をもたらしました。地震後に発生した福島県の前原事故では、未だに、避難を余儀なくされている方が多くいます。

人と人との”絆”の大切さを実感しました。

今年は、政府と与党が進めている「社会保障と税の一体改革」について重要な年となります。また2年に一度の診療報酬改訂と介護保険報酬改訂が同時に行われます。これからも患者の立場から医療福祉が後退しないよう各方面に働きかけていきます。

大腎協では、これからも、人と人の結びつきを大切に”みんなで手をたずさえて”を合い言葉に活動に取り組みます。まだ会員でない方にも私たちの仲間になっていただくよう取り組みますので皆様のご協力をお願いします。

「いつでも・だれども・どこでも・安心して医療が受けられる」医療と福祉施策を守るため、みんなで手をたずさえて一致結束がんばりましょう。